

# 菅谷館跡 改訂版(比企郡嵐山町)

築城年代: 鎌倉時代、築城者: 畠山重忠

菅谷館跡の縄張図/三ノ郭東側には埼玉県立嵐山史跡の博物館が建つ



南側から都幾川(桜並木の向こう側)越しに菅谷館跡のエリアを見たところ/右手に見える建物は埼玉県立女性教育会館





同じ方角から見たジオラマ/手前が都幾川



まず、㊦から西ノ郭・大手門跡及びそれを取り巻く堀へと進もう





ここが㊦の所/堀を渡って西ノ郭へと進む

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





堀を渡る土橋の向こうが西ノ郭





土橋上で、左手の堀を見たところ





同じく、右手の堀を見たところ





西ノ郭に入る手前に土塁がある





左手の土塁を見たところ





右手の土塁を見たところ





さて、ここが西ノ郭/西側から東方向に見たところ

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





振り返って土橋方向を見たところ





そこで左手を見たところ





同じく右手を見たところ





城域外に面した堀(北側・西側)に並行して土塁が築かれている





左手(北側)の土塁を見たところ





これは西側の土塁を大手門跡方向(南方向)に見たところ





その土塁に登って大手門跡方向(南方向)を見たところ





これはその先の大手門跡の辺りから振り返って西ノ郭を見たところ





そこで左手を見たところ/この辺りが大手門跡とすると、この部分に左手から堀を渡る木橋が架かっていたのであろうか





同じく、右手を見たところ/こちらは右手の二ノ郭との間の堀





振り返って南方向を見たところ/左上に見える白い構造物は二ノ郭にある慰霊塔

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





前方を見下ろしたところ/ここは左右の堀が合流して南方向に続く突端部分





そこで右手の堀を見たところ





その堀を見下ろしたところ

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





更に右手の西側の土塁を北方向に見たところ

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





これは左手の堀を見たところ/前方は二ノ郭にある慰霊塔





その更に左手を見たところ/右上は二ノ郭





その堀に沿って少し進んで振り返って見たところ

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





更に進んでその先を見たところ





そこで振り返って見たところ

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





その更に先に進むと、ここで堀は左手にも折れている/折れた堀は三ノ郭(左前方)との間の堀/前方に続く堀は三ノ郭(左前方)と二ノ郭(右手)との間の堀





そこで振り返って見たところ/左手は二ノ郭の土塁/折れが伴っているのが見て取れる





これは左手に折れた堀の先を見たところ/西ノ郭(左手)と三ノ郭(右手)に架かる復元木橋が見える [\(クリックしてビデオを見る\)](#)





そちらへ少し進んで振り返って見たところ/前方が二ノ郭





三ノ郭への復元木橋を西ノ郭から見たところ





復元木橋上から振り返って西ノ郭を見たところ

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





そこで左手を見たところ/前方は二ノ郭





その右手に西ノ郭を見たところ





同じく右手を見たところ/この堀は前方(北側)で城域外に面する堀へ合流する





その左手に西ノ郭を見たところ/城域外に面する堀に並行する北側の土塁が見える





近づいて見たところ





そこで右手の堀を見たところ/右手は二ノ郭の土塁





更に右手を見たところ

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





これは西ノ郭から城域外に面する堀に並行する北側の土塁を見たところ





左手から右手にその土塁を見たところ

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





さて、これは西ノ郭(左手)と三ノ郭(右手)の間の堀底に下りて見たところ





復元木橋の先に進んで見たところ/堀底に何段かの段差がある





その先の段に上がって前方(北方向)を見たところ

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





そこで左手を見たところ





同じく、右手を見たところ





更にその先の段差に上がって前方(北方向)を見たところ





そこで左手を見たところ





同じく、右手を見たところ





そこで振り返って南方向を見たところ/左手が三ノ郭、右手が西ノ郭

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





これは、その更に先の段差に上がって前方(北方向)を見たところ





そこで振り返って南方向を見たところ





そこで左手を見たところ





同じく、右手を見たところ





そして、堀はここで北側の城域外に面する堀へと合流している





そこで左手を見たところ





同じく、右手を見たところ





そこで振り返って南方向を見たところ





さて、今度は西ノ郭と二ノ郭との間の堀底を進んでみよう





この先を右手に折れると西ノ郭と二ノ郭との間の堀

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





ここで堀が合流している/前方は二ノ郭

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





そこで左手を見たところ





同じく、右手を見たところ





こちらは左手に折れた、三ノ郭(左手)と二ノ郭(右手)との間の堀





こちらが西ノ郭(右手)と二ノ郭(左手)との間の堀





その先に進んだところ/左手の二ノ郭の土塁が折れを伴っているのが見て取れる

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





更にその先に進んだところ

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





そこで振り返って見たところ





その更に先に進んだところ/右手が西ノ郭の大手門跡辺りの突端部分

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





そこで振り返って見たところ/左手が西ノ郭





さて、次に西ノ郭北側の城域外に面する堀を巡ってみよう/この手前を右手(西方向)に進む





堀は西ノ郭を取り巻いて南方向へと回り込む/前方は堀に並行した西ノ郭の土塁

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





土塁も折れを伴っている

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





その先に進んだところ/常時、水堀となっているようだ

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





少し進んで振り返って見たところ

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





その先はこんな塩梅





南方向に折れて、堀は前方(南方向)に続いている/左手が西ノ郭





更に南方向に進んで、振り返って見たところ/左手が堀、右手が西ノ郭





そこで少し右手を見たところ/右手に西ノ郭の土塁が見える





その土塁はこんな塩梅/右手が西ノ郭

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





近くにはこんな注意書きがあった



嵐山史跡の博物館

ハチの捕獲器が設置してあります。  
近づかないでください。

スズメバチに注意





さて、㊦から復元木橋を渡って三ノ郭の西側のエリア・正拵門跡とそれを取り巻く堀～三ノ郭の東側のエリア・搦手口とそれを取り巻く堀と進もう





前方が三ノ郭

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





復元木橋を渡って振り返って見たところ





左手の土塁を見たところ/説明板が立っている

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





しょう てん もん

## 正 埧 門 と 木 橋

ここは、三ノ郭の出入り口で正埧門とよばれ幅が約5間（9メートル）あります。発掘調査の結果、西ノ郭より約1メートル高く盛土していたことがわかりました。

この盛土は、西ノ郭へ渡した木橋に傾斜をつけ、敵軍の侵入が困難となるよう工夫したものと思われる。

調査によって堀の中段から、木橋の橋脚を立てたと考えられる石積みが発見されましたが、現在ある橋はそれをもとに推定復元したものです。しかし、実際の橋がどのようなものであったかは、わかっておりません。



これは正站門の手前に築かれた蒨土塁

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





しとみ      ど      るい  
部      土      墨

目の前にある小さな土墨は「部土墨」と  
いいます。

この土墨は、西ノ郭から三ノ郭内部の様子  
を直接見通せないようにつくられたものです。



右手を見ると土塁に切れ目がある





切れ目の外側に進んでみよう/前方は西ノ郭





切れ目から出たところ/西ノ郭との間の堀がある/前方は西ノ郭





そこで左手を見たところ

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





同じく、右手を見たところ





振り返って切れ目を見たところ





そこで左手を見たところ





同じく、右手を見たところ





切れ目から三ノ郭に入って東方向を見たところ





左手を見ると北側の土塁が続いている





これはその左手を見たところ

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





これは三ノ郭の西側のエリアを南側から北方向に見たところ/前方に北側の土塁が見える [\(クリックしてビデオを見る\)](#)





左手を見ると蔀土塁(右手)や正坊門跡(左手)が見える





振り返ると二ノ郭との間の堀が見える/前方で右手に折れている/右手は二ノ郭の土塁/東方向に見たところ  
([クリックしてビデオを見る](#))





その堀を少し東方向に進んで見たところ/この先で今度は左手に折れている/右手の二ノ郭の土塁から横矢が掛かっているのが見て取れる  
([クリックしてビデオを見る](#))





そこで振り返って見たところ





更に東方向に進んで見たところ

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





そこで右手を見ると堀越しに前方の二ノ郭の土塁に切れ目が見える/ここに三ノ郭からの木橋が架かっている、行き来できたようだ





更に右手を見たところ





そこで北方向を見たところ/北側の土塁が続いているのが見て取れる





そこで右手を見たところ/前方は三ノ郭の土塁で、右手の二ノ郭との間の堀がその土塁を取り巻いて、左手に続いて来ている





その左手の堀を見たところ/左前方は三ノ郭の東側のエリアに建つ埼玉県立嵐山史跡の博物館





更に左手を見たところ





さて、二ノ郭との間の堀の先はこんな塩梅/左手が三ノ郭の土塁/この先で左手に土塁を取り巻いている/右手は二ノ郭の土塁  
([クリックしてビデオを見る](#))





そこで振り返って見たところ/この水たまりの上部辺りに木橋が架かっていたようだ/左手が二ノ郭、右手が三ノ郭





その左手の、二ノ郭の土塁を見たところ/檜台的に高くなっており、現在はここに「畠山重忠公像」がある [\(クリックしてビデオを見る\)](#)





これは三ノ郭の土塁の上に登って、北方向を見たところ/右手は三ノ郭の東側のエリア [\(クリックしてビデオを見る\)](#)





反対側から見たところ





その土塁は前方で左手(西方向)に折れている/前方が西方向

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





堀に戻ると、この辺りは完全な水堀となっている/前方で三ノ郭の土塁を左手に取り巻いている

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





そこで左手を見たところ/左手が二ノ郭の土塁





土塁を左手に取り巻いた先の状況/右手は三ノ郭の東側のエリア

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





振り返って見たところ/前方は二ノ郭の櫓台的に高くなった土塁





堀の先はここで左手(西方向)に折れている/左手が三ノ郭の土塁

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





振り返って見たところ/左手が三ノ郭の東側のエリア





これは西方向に折れた先の堀の様子/左手が土塁

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





そこで振り返って見たところ/右手が土塁

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





その堀はここで止まっている/西方向に見たところ

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





振り返ってその堀を見たところ/右手が土塁/前方は三ノ郭の東側のエリア

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





さて、これは三の郭を南側から北方向に見たところ/左手が西側のエリア、右手が東側のエリア





これは反対側から見たところ/左手が東側のエリア、右手が西側のエリア/右手に説明板が立っている [\(クリックしてビデオを見る\)](#)





# 三ノ郭くるわ

からめてもん  
搦手門 入って東西に広がる平地が三ノ郭  
です。この広い郭は武士やきば騎馬の集合地として  
利用されていたのでしよう。



犬の糞の後始末  
お願いします



振り返って北方向を見たところ/北側の土塁に切れ目があるが、これは通路用に削られたものらしい [\(クリックしてビデオを見る\)](#)





そこで左手を見たところ





同じく、右手を見たところ





その土塁の上に登って東方向を見たところ/土塁は前方で右手に折れている





振り返って西方向を見たところ





さて、ここは三ノ郭の東側のエリアから北側への虎口である搦手口/左手に説明板が立っている

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





ここに搦手門があった

からめ て もん ど ばし  
搦手門と土橋

この搦手門は、城の裏門にあたります。搦手門の幅は約4間（7メートル）あります。

門を出た所にある土橋は、空堀を築いたときに堀り残し、盛土してつくられました。



その右手を見たところ/土塁は右手(南方向)に折れて続いている





折れた先に進んで振り返って見たところ/前方が搦手口





そこで右手を見ると土塁はジグザグに続いている/土塁の外側には堀が並行している





さて、ここは三ノ郭の東側/前方の道はかつての三ノ郭(右手)と二ノ郭(左手)との間の堀跡/手前には城域の外堀が横切っているが、通路として埋められてしまっている





左手の外堀を見たところ





右手の外堀を見たところ





前方に進んで振り返って見たところ

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





左手が二ノ郭の東側のエリア/右手が三ノ郭の東側のエリア/その間の堀(現在は埋め戻されて道になっている)は手前で左手に折れて続いていたらしい  
/この前方は「畠山重忠公像」が立っている辺り/西方向を見たところ





そこで左手を見たところ/正面は二ノ郭の東側のエリアを取り巻く堀/南方向を見たところ [\(クリックしてビデオを見る\)](#)





同じく、右手を見たところ/この建物が埼玉県立嵐山史跡の博物館





「三ノ郭」の標柱があった





その右手には「井戸跡」と「建物跡」の標柱もあった

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)









この大きな窪みがそれらしい





こちらは「建物跡」/二棟あるようだ





[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





左手から見たところ/説明板が立っている





たてものあと いどころと くるわ  
建物跡と井戸跡(三ノ郭)

歴史資料館の建設にともなって発掘調査が  
実施されました。ここには、発見された建物  
跡、溝跡、井戸跡のうち、2か所の建物跡と  
1か所の井戸跡を保存して、その位置が示し  
てあります。



左前と右奥の二棟の跡が杭で表示されている





少し退いて見たところ/このエリアは三ノ郭の東側のエリア/手前に菅谷館跡のジオラマがある





(クリックしてビデオを見る)





そこで振り返って西方向を見たところ/道(堀跡)の向こう側が二ノ郭の東側のエリアで、道(堀跡)に沿って続く植栽は、土塁があった位置を表示しているらしい/右前方にも説明板が立っている [\(クリックしてビデオを見る\)](#)





これがその説明板





そこから少し北側に進むと別の説明板があった

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





「館跡」となっているが、縄張の規模・技巧的な土塁や堀の配置などから見ると、菅谷城跡と呼ぶのが相応しいとも云われ、当初に畠山重忠が構えたと云う「館跡」は本郭周辺の方形のエリアで、その後山内上杉氏あるいは小田原北条氏の手により拡張整備されていったのではないかと考えられているようだ

## 畠山重忠と菅谷館跡

畠山重忠は、長寛二年（一一六四年）、畠山荘司重能を父とし、相模の名族三浦義明の娘を母として、武蔵国畠山（現大里郡川本町畠山）に生まれました。

治承四年（一一八〇）、源頼朝が伊豆石橋山に挙兵したとき、父の重能が平氏に仕えていたため、弱冠十七歳の重忠も平氏に属し源氏方の三浦氏を攻めました。その後間もなく頼朝に仕え、鎌倉入りや富士川の戦いには先陣をつとめ、宇治川や一の谷の合戦では、かすかすの手柄をたてました。また、児玉党と丹党との争いを調停するなど、武蔵武士の代表的人物として人々の信望を集め頼朝からも厚く信頼されていました。

頼朝の死後も和田義盛らとともに、二代将軍源頼家をたすけて政治に参加しましたが、北条氏に謀殺されました。四十二歳でした。鎌倉時代の史書『吾妻鏡』によると、元久二年（一二〇五）六月十九日、「鎌倉に異変あり」との急報に接した重忠は、わずか百三十四騎の部下を率い「小（男）倉郡菅谷館」を出発し、同月二十二日、二俣川（現横浜市）で雲霞のごとき北条勢に囲まれ、部下とともに討たれたとあります。

嵐山町菅谷にあるこの城郭が、その「菅谷館」ではないかと古くから言われてきました。城郭の西には鎌倉へ通じる街道跡が残されており、この城郭のどこかに重忠の館があったことも充分考えられます。

現在この城郭は、縄張りや土塁・空堀の構造から推定して、戦国時代末頃に最終的に改築されたものと考えられています。

埼玉県



さて、ここは搦手口/前方が三ノ郭の東側のエリア

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





右手の標柱に「国指定史跡 菅谷館跡」と記されている





左手に説明板が立っていた





正面が二重土塁の外側の土塁/右手が内側の土塁/東方向を見たところ

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





振り返って西方向を見たところ/右手のバイパスのエリアが外堀の役目をした泥田堀であったらしい





これは東方向に進んで見たところ/左手が外側の土塁/右手が内側の土塁





その先に進んだところ





これはその先に進んで南方向を見たところ/堀は北側から東側へと城域(右手)を取り巻きながら折れている  
([クリックしてビデオを見る](#))





振り返って西方向を見たところ/正面前方が二重土塁の外側の土塁/その右手のバイパスのエリアが泥田堀跡





アップで見たところ

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





さて、これは三ノ郭北側の通路用に削られた土塁の切れ目を城域の外側から見たところ

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





そこで左手を見たところ





同じく、右手を見たところ

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





その先へ進んで、振り返って見たところ/右手は三ノ郭の西側のエリアの北側の土塁

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





堀は北側から西側へと城域を取り巻くように続いている/更にその先に進んで見たところ/この辺りも水堀となっている





土塁と堀はこんな塩梅に折れを伴っている





更に西方向に進んで振り返って見たところ

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





更に進んで西方向を見たところ





振り返って見たところ

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





更に西方向に進む





その先で堀は左手にも折れている/左手は三ノ郭の西側のエリア

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





左手の折れた堀の前方には復元木橋が見える/左手が三ノ郭の東側のエリア/右手が西ノ郭/手前の堀は右手に西ノ郭を取り巻くように更に続いている  
([クリックしてビデオを見る](#))





そこからアップで復元木橋を見たところ





復元木橋を潜って、左手に三ノ郭の東側のエリア(左手)と二ノ郭(前方)との間の堀底を進んでみよう/右手は西ノ郭





左手に折れて見たところ/左手が三ノ郭の東側のエリア/右手が二ノ郭/東方向を見たところ [\(クリックしてビデオを見る\)](#)





東方向に進んで見たところ/この先で右手に折れている

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





そこで振り返って見たところ/左手が二ノ郭/右手が三ノ郭の東側のエリア





こんな塩梅で右手に折れている/前方で今度は左手に折れている/左手が三ノ郭の東側のエリア/右手が二ノ郭  
([クリックしてビデオを見る](#))





右手に折れて、振り返って見たところ/左手が二ノ郭/右手が三ノ郭の東側のエリア





ここで左手に折れている/左手が三ノ郭の東側のエリア/右手が二ノ郭 [\(クリックしてビデオを見る\)](#)





左手に折れて前方(東方向)を見たところ/この辺りは水堀となっている

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





そこで振り返って見たところ





更にその先の東方向を見たところ

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





そこで振り返って見たところ





さて、「現在地」と記された辺りから二ノ郭の東側のエリア～それを取り巻く堀～二ノ郭の西側のエリア～それを取り巻く堀～南郭～本郭～本郭と南郭の間の堀へと進んでみよう





ここが「現在地」/「埼玉県指定史跡 菅谷館跡」と記された標柱が立つ





これは二ノ郭の東側のエリアを南西側から北東方向に見たところ





そこで左手を見たところ





同じく、右手を見たところ





これは二ノ郭の東側のエリアを北西側から南東方向に見たところ

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





## 二ノ郭くるわ

二ノ郭は本郭の北側と西側を本郭を囲むように配置されています。三ノ郭とは堀ほりと高さ3.5～6mもある土塁どるいによって隔へだてられています。

犬の放し飼い厳禁！



前に進んで見たところ

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





そこで左手を見たところ





同じく、右手を見たところ





これは二ノ郭の東側のエリアを南東側から北西方向に見たところ





そこで左後ろを見たところ/本郭(左手)の土塁と、その間の堀が西方向に続いている





同じく、右後ろを見たところ/二ノ郭の東側の土塁と、その外側の堀が北方向に続いている/この更に右下には東側の外堀がある





同じく、真後ろを見たところ/左手からの堀が本郭との間の堀に合流している

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





これは二ノ郭の東側の土塁を見たところ

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





右手から左手に見たところ





左手から右手に見たところ/土塁に切れ目がある





その土塁の切れ目を南側から北方向にアップで見たところ

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





さて、前方に続く道は二ノ郭の東側のエリア(左手)と三ノ郭の東側のエリア(右手)との間の堀跡と云う/手前で左手に折れて空堀道に続いていたようだ/東側から西方向に見たところ





そこで左手を見たところ/二ノ郭の土塁(右手)の外側の堀(空堀道)が前方に続いている

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





その更に左手を見たところ/左下が東側の外堀





左下の東側の外堀を見下ろしたところ

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





そこで更に左手を見たところ





外堀側に進んで、振り返って見たところ/道は外堀を埋めて造成されているようだ





さて、これはその外堀に下りてみたところ/右手が二ノ郭の東側のエリア

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





右手に回り込んで見たところ/前方上部は二ノ郭の東側のエリア





その右手を見上げたところ





更に右手を見上げたところ/この上部が道





さて、二ノ郭の土塁の外側の堀底を進んでみよう





からぼりみち

くるわ

## 空堀道（二ノ郭）

ここは三ノ郭から二ノ郭に通する連絡路と推定されます。この連絡路は幅が狭く、入り組んでいて、敵軍が二ノ郭にかんたんに侵入できないよう工夫されています。



犬の糞の後始末  
お願いします



堀底を進んだところ/右手が二ノ郭の土塁/北側から南方向を見たところ

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





更に先に進んだところ/前方の上部が本郭/右手の階段がある所は二ノ郭の東側の土塁の切れ目で、この空堀道から二ノ郭への虎口であったようだ





そこで振り返って北方向を見たところ

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





更に南方向に進んだところ/堀はこの先で、二ノ郭の東側のエリアと本郭の間にある堀に合流している





そこで振り返って北方向を見たところ/左手が二ノ郭の東側のエリア





堀はここで合流している

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





振り返って見たところ





右手(西方向)を見たところ/左手が本郭の土塁/右手は二ノ郭の東側のエリア





左手(東方向)を見たところ/右手が本郭の土塁





その堀底を東方向に進んでみたところ/この先は下っていて東側の外堀になっている





先端で左手を見たところ/東側の外堀の様子が見て取れる





同じく、真下を見たところ/この辺りは水堀となっている





同じく、右手を見たところ/東側の外堀は本郭(右手)を取り巻くように南側へと続いている





同じく、振り返って西方向を見たところ

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





さて、これは堀底を西方向に進んでみたところ/突き当りは、二ノ郭(右手)と本郭(左手)を繋ぐ土橋 [\(クリックしてビデオを見る\)](#)





そこで振り返って東方向を見たところ/右手が本郭の土塁





これは二ノ郭(右手)と本郭(左手)を繋ぐ土橋越しに西方向を見たところ/本郭と二ノ郭の西側のエリアとの間の堀が本郭を取り巻くように続いている





土橋上で東方向を見たところ/左手が二ノ郭の東側のエリア





これは二ノ郭から、本郭への土橋を見たところ/前方が本郭への虎口

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





反対に本郭から、二ノ郭とを繋ぐ土橋を見たところ/右前方が二ノ郭の東側のエリア/左前方は二ノ郭の西側のエリア





さて、この前方が二ノ郭の西側のエリア/東側から西方向を見たところ

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





二ノ郭の西側のエリアへと進む/左手は本郭との間の堀

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





そこで左手を見たところ





同じく、右手を見たところ/こちらには二ノ郭の北側の土塁が続いている





その先に進んで見ると、土塁の切れ目がある





そこで更に西方向を見ると、土塁が二ノ郭の西側のエリアに沿って南方向へと続いている状況が見て取れる





さて、ここが二ノ郭の西側のエリアを取り巻く北側の土塁の切れ目

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





そこで左手を見たところ





同じく、右手を見たところ/この土塁の上部に「畠山重忠公像」が立っている





土塁の切れ目へ進むと、前方に三ノ郭の西側のエリアが見える/その手前に堀が巡っている





左手の土塁を見たところ





右手の土塁を見たところ/「畠山重忠公像」が見える





ここは水堀になっている/前方が三ノ郭の西側のエリア

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





そこで左手を見たところ/堀は折れを伴いながら西方向に続いている





同じく、右手を見たところ





そこで振り返って南方向を見たところ/前方は本郭の土塁





同じく、右手を見たところ





同じく、左手を見たところ/木の陰に「畠山重忠公像」が立っている





さて、その土塁の上に登ってみよう

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





前方が土塁の上に立つ「畠山重忠公像」





さまざまな石碑も立っている



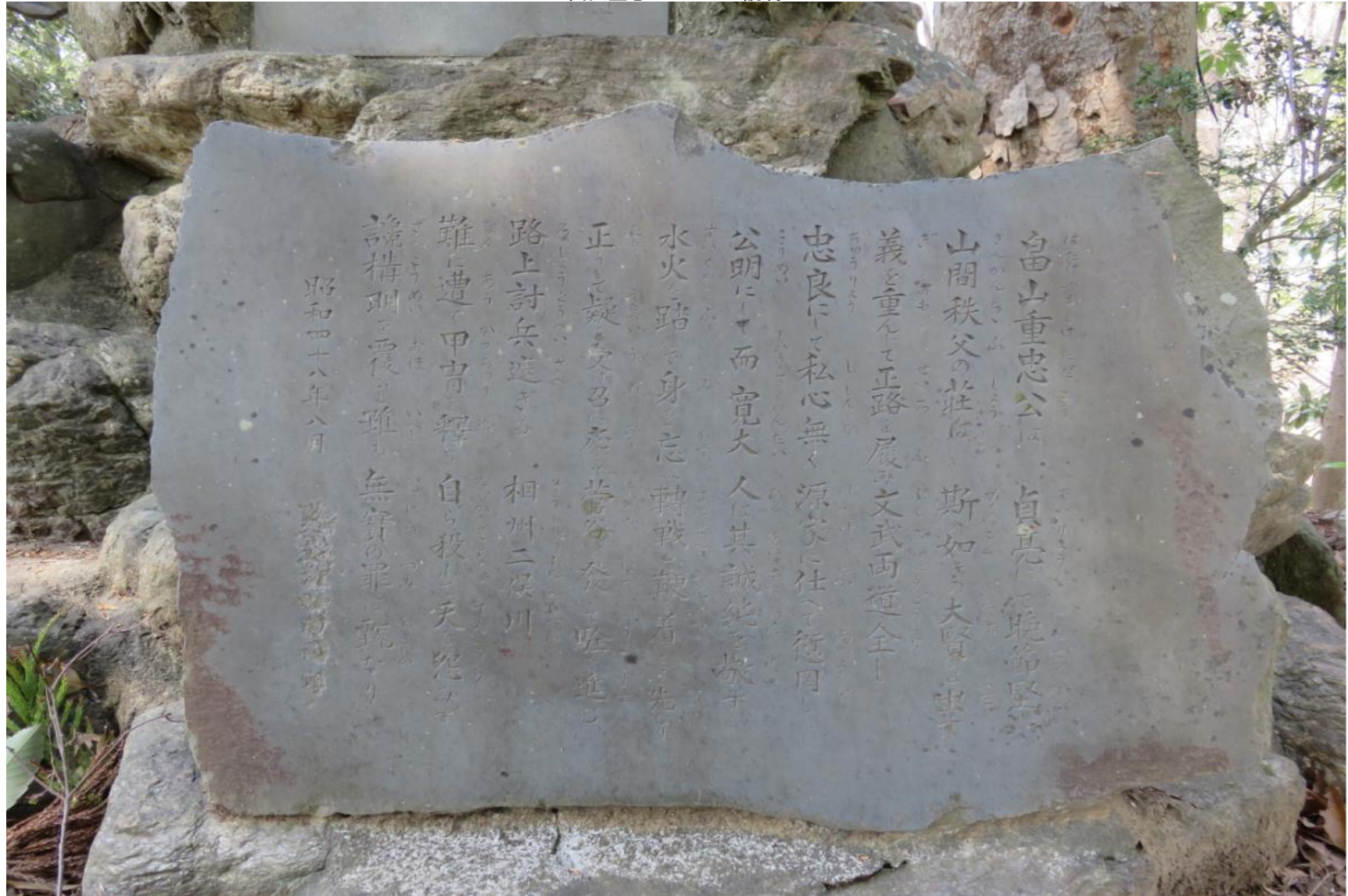


「畠山重忠公像」と刻まれている



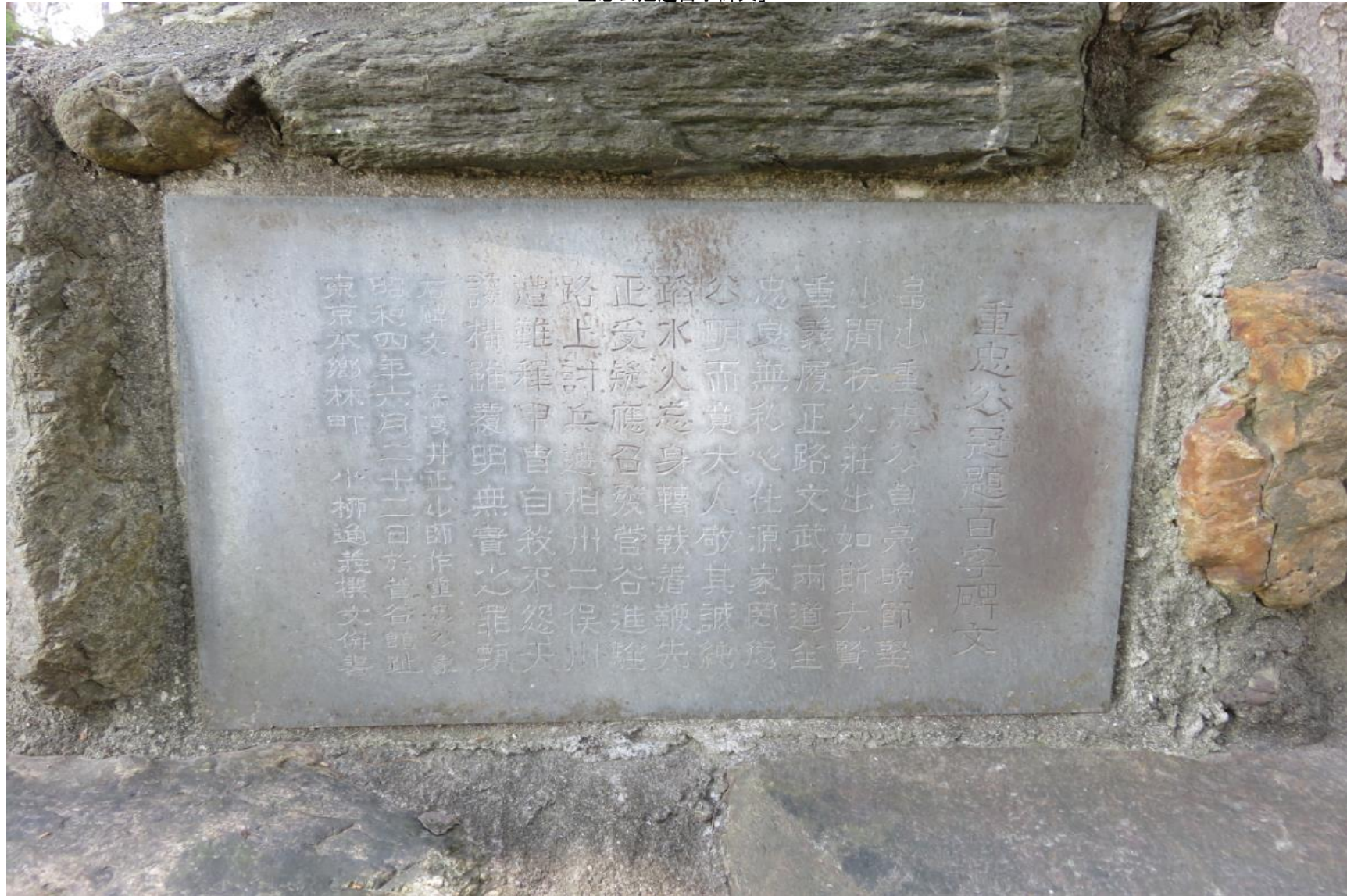


畠山重忠についての説明





「重忠公冠題百字碑文」



重忠公冠題百字碑文

島小重忠公貞亮晚節堅  
少間秩父莊出如斯大賢  
重義履正路文武兩道全  
忠良無私心仕源家罔危  
公明而竟大人敬其誠純  
蹈水火忘身轉戰着鞭先  
正受疑應召發營谷進騷  
路上討兵遮相州二俣州  
遭難釋甲肯自殺不怨天  
謗構難覆明無實之罪類

右碑文 永享井正山師作重忠公事  
昭和四年六月二十二日於菅谷館趾  
東京本郷林町 小柳逸義撰文傳書



そこから北方向を見下ろしたところ

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





さて、ここは二ノ郭の西側のエリアを取り巻く北側の土塁が、西側で左手(南方向)に折れる辺り [\(クリックしてビデオを見る\)](#)





そこで右手を見たところ





同じく、左手を見たところ/左端に慰霊塔が見える





これがその慰霊塔

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





約は二らは西南戦争以来、各戦  
に散らした本町出身者三四二柱の  
御霊を祀したものであります。

この御霊を郷軍人会の協力を得て創建  
したものであり、大東亜戦後放置されて  
おりましたが、昭和四十年、旧軍人や関係  
者等により得て再建修復したものであり  
ます。として同年九月十二日、ラバウル  
の戦い、今村均元大将を招き、合祀慰霊祭  
を行いました。であります。石垣の石は  
本町産のものであります。

嵐山町社会福祉協議会







その土塁の上に登ったところ





そこから右手の土塁を見たところ





同じく、土塁の上部を見たところ

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





その左手を見下ろすと西側の外堀が見える

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





真下を覗き込んだところ





左手の土塁の上部を見たところ





さて、二ノ郭の西側のエリアと本郭(左手)との間の堀を見てみよう





そこで堀底に下りて西方向を見たところ/左手は本郭の土塁





その先に進んで見たところ/堀はここでジグザグに折れている

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





振り返って東方向を見たところ/左前方は本郭への虎口





そのジグザク部分の堀を見たところ/前方上部は本郭

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





そこで左手(東方向)を見たところ





少し退いて見ると、説明板が立っている/右手が「出柵形土塁」

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





で ます が た ど る い  
出柵形土塁

ほん ぐるわ から ぼり

本 郭は空堀と高い土塁によって守られてい  
ます。さらに土塁にはこのような出柵形（凸状  
に突き出た箇所）がつくられ、いて敵軍の侵入  
が効果的に防げるようになっています。



犬の糞の後始末  
お願いします



そこで堀底に下りて西方向を見たところ





右手を見たところ/これが「出柵形土塁」/この裏に説明板が立つ

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





更に右手を見たところ/堀は前方で右手(東方向)に折れている





さて、ここは堀が西側で南方向に折れる辺り/右手が南方向/前方は本郭の土塁





左手(東方向)を見たところ

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





右手(南方向)を見たところ/左手が本郭の土塁





同じく、堀底に下りて南方向を見たところ





その先に進むと、堀はここで本郭(左手)を取り巻くように左手に折れている

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





これは左手に折れた堀を見たところ/左手が本郭/右下は南郭





堀の折れる辺りから振り返って北方向を見たところ/右手が本郭の土塁

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





さて、これは二ノ郭の西側のエリアの南端で北方向を見たところ/土塁が巡っているのが見て取れる

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





そこで左手を見たところ/慰霊塔が見える





同じく、右手を見たところ/右手には本郭との間の堀が巡っている





同じく、振り返って南方向を見たところ/この下の平場が南郭

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





そこで右手を見たところ





同じく、左手を見たところ





さて、南郭へと下りてみよう

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





そこで左手を見たところ/南郭は東西に細長く続いている





階段を下りると、前方に説明板が立っている/南方向を見たところ





みなみ

南

くるわ

郭

ほんぐるわ

この郭は本 郭の南側に位置し、他の郭より一段低くなっています。今のところ、どのように利用されていたかは、よくわかっていません。



これは前方に進んで、振り返って北方向を見たところ/前方にその説明板が見える

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





そこで左手を見たところ/こちらは南郭の西側のエリア/二段の平場で構成されている/前方の上部が二ノ郭の西側のエリア





更に左手を見ると土塁が見える





同じく、右手を見たところ/こちらは南郭の東側のエリア





更に右手を見たところ/土塁が続いている





これは南郭の東側のエリアを、西側から東方向に見たところ

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





そこで左手を見たところ/右前方は土塁が続いており、土塁の向こう側には本郭との間の堀が並行している





同じく、右手を見たところ/南郭の南側の土塁が東方向に続いている





これは南郭の西側のエリアを南側から北方向に見たところ/前方の上部が二ノ郭の西側のエリア [\(クリックしてビデオを見る\)](#)





南郭の東側のエリアをを東方向に進もう





そこで左手を見たところ/土塁と堀の向こうが本郭





同じく、右手を見たところ

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





更に東方向に進んだところ/右手には土塁は無く、右下は急峻な斜面となっている [\(クリックしてビデオを見る\)](#)





左手の土塁を見たところ

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





これは振り返って、西方向を見たところ

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





更に東方向に進んだところ/南郭の横幅はこの辺りで狭くなっている





これは右下の急峻な斜面を見たところ

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





ここは南郭の東端で、本郭(前方)へ登れるようになっている

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





そこで左手を見たところ





さて、前方が本郭/手前に堀が巡っている

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





左手を見たところ/右手が本郭/左手の土塁の左下が、南郭の東側のエリア





右手を見たところ/堀はこの先で急峻な斜面となっている/左上が本郭





さて、二ノ郭の西側のエリアと南郭を取り巻く外堀を見てみよう/ここは最初の、三ノ郭の西側のエリアへの虎口の辺り





そこから南方向に西側の外堀(左手)に沿って進む

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)









途中、「オオムラサキの森活動センター」の脇を通過して南方向に進む [\(クリックしてビデオを見る\)](#)





気になる「注意書き」が...







まむし注意  
ゴミは、持ち帰りましゅう。



「蝶の里公園」の案内図も立っている





左手が西側の外堀だが、容易には近寄れない





ここで下って東方向に回り込む/前方に説明板が立っているのが見える/左手が西側の外堀





# 周辺案内図

オオムラサキの森・蝶の里公園・ホタルの里・菅谷城跡



ホタルの里



蝶の里公園



オオムラサキの森  
活動センター



オオムラサキの森





これは南側に回り下りて、北方向を見たところ/この階段を登っていくと南郭へと至る/左手は西側の外堀





その西側の外堀を見たところ/右手の上部が南郭





右手を見ると、こちらは「ホタルの里」となっているようだ/左手の上部が南郭/西側から東方向を見たところ







お願い!!

ガケくずれのおそれがあり  
危険ですので  
立入らないで下さい。

埼玉県立嵐山史跡の博物館長



これはその右手(南側)で、遊歩道がある/西側から東方向を見たところ





そこから北方向を見たところ/この上部に南郭がある





これは更に南側で、西側から東方向に天然の要害である都幾川の流れを見たところ/左手が城域/前方の茶色の建物は埼玉県立女性教育会館





さて、二ノ郭の東側のエリアから土橋を渡って本郭へと進もう

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





左手の土塁を見たところ





その左手に堀を見たところ/左手が二ノ郭の東側のエリア





右手の土塁を見たところ





その右手に堀を見たところ/右手が二ノ郭の西側のエリア





これは本郭に入って、振り返って土橋方向を見たところ

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





そこで左手の土塁を見たところ





本郭を取り巻いて西側から南方向に続いている





同じく、右手の土塁を見たところ





本郭を取り巻いて東側から南方向に続いている





本郭を北側から南方向に見たところ





そこで左手を見たところ





同じく、右手を見たところ





このエリア内が畠山重忠の館跡と云う

ほん

本

ぐるわ

郭

すがややかた

現存する菅谷館は戦国時代に整備拡張され

はたけやましげただ

ました。畠山重忠の館もおそらく、この郭  
の中につくられたのでしょう。



これは西方向を見たところ/手前は本郭の標石/前方に細長い石碑が立っている

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





これがその石碑/背後は土塁が巡っている

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





そこで振り返って見たところ/西側から東方向を見たところ





左手を見たところ





右手を見たところ





これが背後(西側)の土塁

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





左手を見たところ





右手を見たところ





振り返って東方向を見たところ/前方に細長い石碑が見える





左手の土塁を見たところ/西側から東方向に見たところ

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





右手の土塁を見たところ/土塁は前方で左手(東方向)に折れて、本郭を取り巻いている





これは東側から西方向に本郭を見たところ

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





そこで左手を見たところ





土塁が回っている





同じく、右手を見たところ





土塁が回っている





その先を見たところ/東側から西方向を見たところ

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





振り返って東方向を見ると、土塁の切れ目があり、ここは生門跡

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





その先は急峻な斜面となっている





さて、ここは本郭南西隅の土塁上/前方で右手(北方向)に折れている/左手は南側の堀 [\(クリックしてビデオを見る\)](#)





振り返って東方向を見たところ





少し東方向に進んで、振り返って見たところ/左手の土塁の下は南郭の東側のエリア





堀底に下りて、東方向を見たところ/左手が本郭/右手の土塁の下が南郭の東側のエリア





堀底を東方向に進んで、更に東方向を見たところ

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





そこで振り返って西方向を見たところ





更に東方向に進む/左手が本郭

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





右手の土塁を見たところ/その背後の下部は三ノ郭の東側のエリア





その右手を見たところ





更に東方向の堀底で、東方向を見たところ

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





振り返って西方向を見たところ





更に東側で東方向を見たところ





振り返って西方向を見たところ





その東方向に進むと、前方で急峻な斜面となっている/手前が南郭の東側のエリアから本郭への通路 [\(クリックしてビデオを見る\)](#)





その先端がこんな塩梅





そこで振り返って西方向を見たところ/右手が本郭

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





傍にはこんな「注意書き」が...





菅谷館跡の鳥瞰写真/下が都幾川

国指定史跡

比企城館跡群

# 菅谷館跡

埼玉県比企郡嵐山町菅谷



彩の国  
埼玉県



©埼玉県 2005



埼玉県立嵐山史跡の博物館 資料より



参考ホームページ

<http://jyokakuzukan.la.coocan.jp/011saitama/112sugaya/sugaya.html>

<http://yogoazusa.my.coocan.jp/sugavaran.htm>

<https://sirotabi.com/5830/>

<https://www.asahi-net.or.jp/~ab9t-ymh/kakuchi/ranzan01/sugayakan.html>

<http://kogasira-kazuhei.sakura.ne.jp/subdir-siropage/sugayakata2004-08.html>

<http://umoretakoio.jp/Shiro/Kantou/Saitama/Sugava/index.htm>

<http://www.hb.pei.jp/shiro/musashi/sugaya-yakata/>

<http://www.siromegu.com/castle/saitama/sugaya/sugaya.htm>

<https://wp.mikeforce.net/castles/2019/04/菅谷館——sugava-castle.html>

[www.ranhaku.com/web05/c2/1\\_02.html](http://www.ranhaku.com/web05/c2/1_02.html)

<https://sites.google.com/a/onodenkan.net/lie-dao-cheng-zhi-ji-xing/qi-yu-xian/jian-gu-cheng>

<https://castles-which-kimuppe-visited.iimdofree.com/まとめてあるお城一覧/菅谷館/>

[http://hanatanbou2.web.fc2.com/musasi\\_sugayakataato.htm](http://hanatanbou2.web.fc2.com/musasi_sugayakataato.htm)

<http://tutinosiro.blog83.fc2.com/blog-entry-1525.html>



